

愛 労 連

愛知県労働組合総連合

名古屋市熱田区沢下町8-18
労働会館第2ビル
TEL 052-871-5433
発行人 阿部 精 六

第54号 1997年6月10日

第7回地域労連研究集会

と き▶6月28日(土)~29日(日)
と ころ▶蒲郡荘(14:00~)

愛労連婦人協議会第8回総会

と き▶6月28日(土)13:30~
と ころ▶自治労連県本部会議室

5・23「女子保護撤廃許すな」中央決起集会



労働法制全面改悪反対

専門性いかし、先頭に立つ 全労働

全労働は、財界の雇用・賃金破壊、春闘破壊攻撃が一層強まった九七春闘で、労働法制改悪反対のたたかいを、労働者・国民全体にかかわる重要課題と位置づけ、支部内に闘争委員会を発足させ、外へ打って出る取り組みを展開してきました。

現在参議院で審議がおこなわれている「女子保護」規定撤廃は、現実に重い家庭責任を負っている多くの女性労働者を正社員から追い出し、臨時・不安定雇用へと追いやるもので、どうしても廃案に追い込む必要があり。また、有料職業紹介事業の更なる拡大、労働者派遣事業の原則自由化、裁量労働制の拡大、労働契約期間の上限緩和など、まさに労働者・国民全体に影響をおよぼす全面的改悪内容が準備されています。

私たちは、労働行政にみずから従事している「専門性」を最大限にいかし、多くの労働者と共同して奮闘する決意です。

二兆円もの国民負担を強いる健康保険法の大改悪、国会審議も不十分なまま、国の財政赤字を最大の理由に強行成立されようとしている。今国会へは千五百万におよぶ反対署名が届けられ、テレビコマーシャル、電光掲示板など創意あふれる取り組みが最終盤の国会にむけて強められています。

愛知では社保協規模で既に七十万筆、医労連は二十九万二千筆におよぶ署名を集約しています。病院の門前の患者さんへのピラ配布や署名コーナーの設置、周辺住宅への返信封筒をつけての署名用紙配布、「オリジナルポスター」を作成し地域への宣伝行動に。なかには、すでに改悪されたと勘違いし、直に入院

いのち、くらし破壊する 規制緩和許すな！

橋本内閣は、21世紀に向けて財界や大企業のもうけの自由を保障するために、国民犠牲の規制緩和や行財政改革を断行しようとしています。強行された消費税5%アップや今国会審議中の医療保険や措置制度など社会保障の全面改悪、「女子保護」撤廃や裁量労働など労働分野での規制緩和攻撃で、労働者・国民のいのち、くらし、権利、雇用が危機に直面しています。今こそ、国民各階層との共同を大きく広げたたかうことがますます重要になっています。

香港は長い間、暴力手配師やヤミ手配師が働くものを支配し、日曜はおろか、三百六十五日休みなく働かされてきました。全港湾は港湾労働者の生活と雇用を守るために、コンテナ、本船荷役を体張るのに、賃上げ・時短などが取ってききました。いま、アメリカやEU、そして大資本荷主や船会社

は、より安く、いつでも自由に使える港を狙い、これまで港湾労働者がかち取ってきた差別協定を踏みこみ、ろうとしていきます。事前協定の廃止など日米海運協定が合意した内容は、産別協定に強引に介入するものです。また橋本内閣は、規制緩和推進計画を閣議決定し、来年には、運輸政策審議会に付託予定です。全国港湾や名港労協は、一月からの決起集会や時限スト、三月十二日には二十四時間港灣ゼネストなどに全力をあげてたたかっています。さらに六月十三日の規制緩和反対名古屋港決起集会をあらたな出発点として、全国の仲間といっしょに全港湾ゼネストをたたかい抜く決意です。大企業の利益優先の規制緩和に反対するたたかいをともにすすみましょう。

たたかいとつた雇用と権利 逆もとりさせない 全港湾



3・12「規制緩和反対」24時間ゼネスト

人権の花さかそう

5・25人権と民主主義を守る大集会



中部電力人権裁判や国鉄闘争をはじめとする中部五県の争議を早期に解決しようとする「風薫れ、光よ走れ、5・25人権と民主主義を守る大集会」が名古屋市公開堂で開かれ、約二千人が参加しました。講演したジャーナリストの増田れい子さんは、「徹底的に人権を否定した日本の軍隊イズムが、戦後企業の中で受け継がれ、職場では人権や民主主義が奪われている。人権をうち立てるたたかいは、憲法を守るたたかいであり、未来につながる運動」とたたかう仲間を励ました。争議団と支援する仲間たちが団結して、さらに運動を大きく広げようという決意を固めあう集会となりました。

患者のいのち守れないと地域にうつって 医労連

しなければならぬような患者さんが、「ちよっと待ってください」とか、「二日も三日も病院にこない、薬も間引いて飲むなど自己防衛も始まっているようです。「治療ができない、患者の命が守れない」など現場での危機感ますます強まっています。地域に出て訴えれば大抵は応えてくれるが、知らない人が多いことも事実です。「金の切れ目が命の切れめ」そんな状態にしないためにも、国民的世論と運動で政府・厚生省を包囲するまで共同を広げましょう。

復帰25年

土地も海も空も奪われて 基地も安保もいららない

全労連は五月十五日から十七日の三日間、二十一世紀に向けて米軍基地も安保条約もない平和で安全な沖縄・日本をめざすつと、沖縄で第七回平和集会を開催しました。矢白別、王城寺原、日出、生台など米軍実弾射撃演習移転候補地からの代表を含め六〇人が参加して運動を交流。那覇、浦添、市長などへの激励訪問や嘉手納基地・海上基地予定地など北部・中部の基地調査を行いました。

「戦後、避難先から戻った家(土地)は米軍基地にされてきた。半年か一年で戻れるだろうと思いつ、田や畑に仮住いをした。それが半世紀も続いている」
沖縄市への激励訪問で、対応した富山助役は、「本土復帰二十五年。沖縄にはいまだに日本国憲法が適用されない。何のための復帰だったのか」、特措法が強行され、またゼロからの出発なのか」と、怒りをこめて語ります。また「市の面積の三十七%を基地が占め、海浜開発に活路を求め

「全労連第七回平和集会」に参加して 伊藤むつを(愛労連事務局長)

基地建設は 珊瑚礁の死滅
普天満基地返還にもない、代替のヘリポート建設予定地とされる名護市辺野古の海は、珊瑚礁の広がる自然豊かな漁港です。もう建設が計画されているへ

ざるを得ない。漁民のくらしを脅かす矛盾を承知しながらです」と、行政の悩みも吐露してくれました。
この良質な漁場なのに、それで生計を立てている漁師は、たった四件。「儲らないのではなく、米軍の水

豊橋・蒲郡コースを元気に進行する鹿田さん(右端)



平和のねがい新たに 東京・広島コース通し行進者 鹿田敏彦さん(春日井地域)

東京・夢の島を五月六日に出発した九七年核兵器廃絶国民平和行進(東京・広島コース)は、五月三十一日、静岡から愛知に受け継がれました。
通し行進者の一人、鹿田敏彦(四十歳・東海法務書記長)さんは、長年春日井地域で平和運動を取り組んできた人。この地域の地道な平和運動の中からの通し行進者は九五年以来、紙パ

核も基地もない平和な日本を、沖縄を!



ヘリポート予定地団結小屋前で話しを聞く参加者



働く人の困りごとは
首きり、賃金不払い、労災など
労働相談110番
☎ 052 - 881 - 1411
AM10:00 ~ PM4:00 (土日、祝日を除く)

県下7ヶ所で地域メーデー

春日井・小牧地域

安城地域 安城西公園	一宮地域 新柳公園	春日井・小牧地域 春見公園
尾東地域 豊橋公園児童遊園地	東三河地域 宮川モール	尾北地域 江南中央公園

青空のもと第六十八回メーデーが開催されました。愛知県中央メーデーの他、県下7ヶ所で地域メーデー(写真他、蒲郡地域)が、四月二十八日には西三河ブロッコがメーデー前夜祭を開きました。